

当たり前の「ありがとう」

旭野高等学校 2年
牧野 美南

私はある日の部活の帰りに起きた出来事について話したいと思います。その日に私が乗っていた電車は少し混んでいて座れなかったので、仲間と立っていました。私がいっものように友人と話していたら、少し車内がざわつきました。どうしたのかなと思ったら、通路がびたびたに濡れていました。「え。」と思って辺りを見渡すと、飲みかけの缶ビールを持ちながら寝ている男性がいました。その男性は起きる気配が全くなく、私もどうしようかなと悩みました。でも床がずっと濡れていたらみんなが通れないなと思い、拭くことにしました。私はその時、ティッシュを持っていなかったので友達にもらって拭き始めました。すると、友達も一緒になって拭いてくれ、後輩も手伝ってくれました。ちょうど拭き終わった頃に、運転手さんがやってきました。どうしたのか聞かれ事情を説明したら、ゴミを回収してくださいました。その後も普通に友達と喋っていましたが、男性は運転手さんに話しかけられるまで全く起きませんでした。何を話していたかは分かりませんが、次の駅で男性は降りていきました。お礼と謝罪の一言くらいあるかなと思いましたが、多分、私達がやったことは知らなかったのだと思います。別に私達もお礼と謝罪の一言を待っていたわけではありませんでしたが、もしあったとしたら、やったかいがあるなと少し感じたと思います。何かを求めてやったわけではなく、自分が勝手にやりだしたことなので、少しでも誰かの役に立てていたらいいなと思いました。

誰かのなにげない親切な行動が、誰かのためになります。それが積み重なって優しさや思いやりがいっぱい地域になります。それに伴い、「ありがとう」もいっぱいになってほしいです。どんな些細な事でも「ありがとう」と当たり前で伝えられる、みんながそん

な人になってほしいです。今回の件では、ほぼ「ありがとう」という言葉は、私と仲間同士で一部あったくらいです。でも、もし見ていた人が心の中で「ありがとう」と思ってくれていたかもしれません。

行動を起こすことには勇気がいります。誰でも簡単にできるわけではないと思います。私も昔の私のままだったら、多分一番先には動けなかったと思います。私が勇気を持てるようになったのは、学校での友達との関わりや、他の人の親切な行動に助けられたりしたことで、自分も恩返しをしたり、自分の行動に自信をもって生きていきたいと思ったからです。席を譲ろうと思ってはいるけど、心の中で思っているだけで実際行動には移せないということが、今まではとても多かったです。しかし、行動を起こすためにいる勇気は一瞬だけど、行動を起こせないままだったら後悔はずっと残ることに気づきました。だから、みなさんにもこの一瞬の勇気を出して行動を起こしてほしいなと思います。みんなが勇気を出せるようになったら、私達の地域は優しさ、思いやり、そして「ありがとう」でいっぱいの最高の場所になると思います。